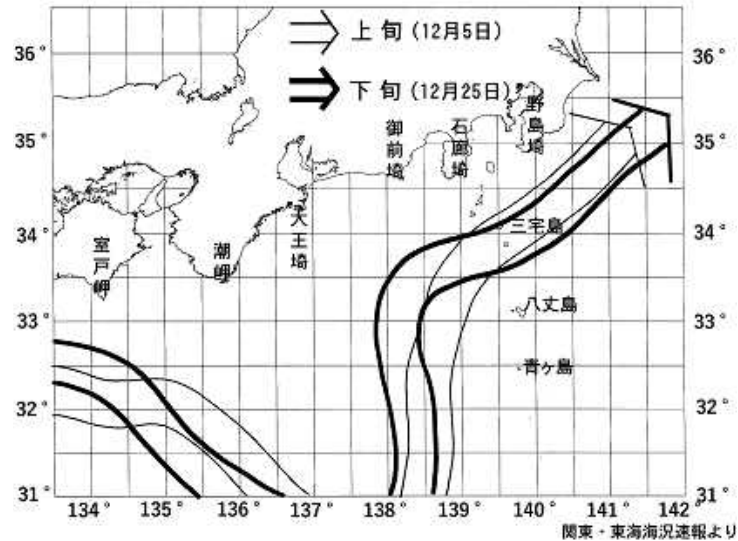


漁海況月報

令和6年12月1日

No. 12 ~12月31日

静岡県水産・海洋技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



12月定地水温の旬平均値(°C) (下段は平年値*からの偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	17.7	19.2	19.2	19.8	18.7	19.4
	-0.2	0.7	0.9	1.6	0.6	1.4
中旬	17.5	18.2	18.3	18.6	17.8	17.5
	0.6	0.6	1.0	1.4	0.7	0.6
下旬	16.1	16.7	16.6	17.1	16.1	16.3
	-0.1	-0.1	0.0	0.7	-0.1	-0.1
月	17.1	18.0	18.2	18.5	17.5	17.9
	0.1	0.4	0.8	1.2	0.3	0.7

*平年値：過去30年(平成3年~令和2年)の平均値

【黒潮流路】

12月を通じてA型で、遠州灘沖で大きく離岸した後、上旬~中旬は石廊崎沖まで、下旬は駿河湾沖まで北上する流路となった。

上旬は遠州灘沖で大きく離岸し、遠州灘沖30.5°N付近から石廊崎沖34.0°Nまで北上した後北東に進み、三宅島付近を通過して北東に流去した。暖水波及が石廊崎沖の黒潮北縁から大島西水道に向けて、石廊崎沖の黒潮屈曲部から熊野灘、遠州灘、駿河湾に向けて見られた。

中旬は遠州灘沖で大きく離岸し、遠州灘沖30.5°N付近から石廊崎沖34.0°Nまで北上した後北東に進み、三宅島付近を通過して北東に流去した。暖水波及が石廊崎沖の黒潮北縁から大島西水道に向けて、石廊崎沖の黒潮屈曲部から遠州灘に向けて見られた。

下旬は遠州灘沖で大きく離岸し、遠州灘沖30.5°N付近から駿河湾沖33.5°Nまで北上した後東進し、三宅島~八丈島間を通過して北東に流去した。暖水波及が石廊崎沖の黒潮北縁から大島西水道に向けて、石廊崎沖の黒潮屈曲部から遠州灘に向けて見られた。

【沿岸域水温】

上旬は伊東で「平年並み」、稲取、下田、沼津、焼津で「やや高め」、雲見で「高め」であった。中旬は全ての地点で「やや高め」であった。下旬は雲見で「やや高め」、それ以外の地点で「平年並み」であった。

【竿釣カツオ】

12月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げはなかった(前年同月0.8トン)。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	平均水揚量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
R6年12月上旬	-	-	-	-
中旬	-	-	-	-
下旬	-	-	-	-
R6年12月計	-	-	-	-
R5年12月計	0.8	1	0.8	975
R4年12月計	-	-	-	-

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は149.7トンで、前年(161.4トン)の93%、平年(284.9トン)の53%であった。また、1か統当たりの水揚量は21.4トン(前年:23.1トン、平年*:40.7トン)であった。水揚量の多い漁場は、古網漁場(40.1トン、マルソウダ、さば類、スルメイカ)、次いで北川漁場(25.7トン、さば類、マルソウダ、スルメイカ)であった。

多獲された魚種の水揚量は次頁(表)のとおりで、さば類は35.5トン、前年比99%、平年比48%であった。水揚げされたさば類のうち、マサバは3.1トン、前年比38%、平年比65%、ゴマサバは32.4トン、前年比1.2倍、平年比46%であった。マルソウダは32.8トン、前年比1.7倍、平年比2.7倍であった。メアジは13.2トン、前年比5.2倍、平年比2.3倍であった。スルメイカは10.8トン、前年比1.0倍、平年比35%であった。クサヤモロは8.0トン、前年比40.6倍、平年比36.2倍で、平成9年以降、最も水揚量が多かった。

多獲された魚種の主な漁場は、次頁(表)のとおりで、各漁場の水揚量の割合は、さば類では北川漁場が31%(10.9トン)、古網漁場が27%(9.6トン)、マルソウダでは古網漁場が40%(13.1トン)、谷津漁場が21%(6.9トン)、メアジでは川奈漁場が43%(5.6トン)、谷津漁場が26%(3.4トン)、スルメイカでは古網漁場が31%(3.4トン)、北川漁場が21%(2.2トン)、富戸漁場が16%(1.7トン)、クサヤモロでは赤沢漁場が54%(4.3トン)、北川漁場が24%(1.9トン)、谷津漁場が17%(1.3トン)であった。

*平年：昭和57年~令和5年の平均値

多獲された魚種の水揚量と主な漁場

魚種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
さば類	35.5	0.99	0.48	北川、古網
マルソウダ	32.8	1.71	2.70	古網、谷津
メアジ	13.2	5.22	2.30	川奈、谷津
スルメイカ	10.8	1.04	0.35	古網、北川、富戸
クサヤモロ	8.0	40.64	36.16	赤沢、北川、谷津

[サバたもすくい・棒受網]

小川港所属の棒受網漁船は月を通してたもすくい漁業主体で操業し、漁場は大島千波および利島に形成された。水揚量はゴマサバ24トン(前年同月比30%)であり、1隻当たり水揚量は3.0トン(前年同月比54%)であった。マサバの水揚げはなかった。平均単価は、218円/kgで前月(197円/kg)、前年同月(216円/kg)を共に上回った。漁獲物の体長組成は、30cmにモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		平均単価(円/kg)		漁場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R6年12月上旬	-	20	4	5	-	3.9	-	215	大島千波、利島
中旬	-	5	3	3	-	1.6	-	229	大島千波、利島
下旬	-	-	-	-	-	-	-	-	-
R6年12月計	-	24	7	8	-	3.0	-	218	大島千波、利島
R5年12月計	0	79	8	14	0	5.6	237	216	大島千波
R4年12月計	-	110	5	8	-	13.8	-	161	大島千波、利島

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため、月計と一致しないことがある。

*表中の「-」は水揚げがなかったことを示す。

[サクラエビ船曳網]

12月の出漁日数は8日、水揚量は138.3トンであった(前年同月の出漁日数は10日、水揚量は152.4トン)。主漁場は大井川沖～榛原沖であった。水揚げされたサクラエビは体長31～33mmにモードを持つ当歳エビと40～41mmにモードを持つ1歳エビで構成されていた。

なお、今秋漁は12月25日夜の操業で終漁し、総水揚量は189.0トン、出漁日数は15日であった。

サクラエビ水揚量

期間	水揚量(トン)	日数	漁場
R6年12月上旬	91.4	5	大井川沖～榛原沖
12月中旬	25.8	2	大井川沖～榛原沖
12月下旬	21.1	1	榛原沖
R6年12月計	138.3	8	大井川沖～榛原沖
R5年12月計	152.4	10	大井川沖～相良沖
R4年12月計	103.3	5	大井川沖～相良沖
R3年12月計	75.2	7	吉田沖～相良沖

[シラス船曳網]

県内7港における1日1か統当たりの水揚量は、遠州灘(新居、舞阪、福田、御前崎)が92kg、駿河湾(吉田、用宗、由比)が83kgであった。平均水揚量は87kgで前年同月(188kg)の46%、平年*同月(過去5か年平均:149kg)の58%であった。また、総水揚量は40トンで前年同月(255トン)の16%、平年同月(120トン)の33%で前年及び平年同月を大きく下回った。平均単価は2,217円/kgで前年同月(1,127円/kg)の2.0倍、平年同月(1,422円/kg)の1.6倍で、前年及び平年同月を大きく上回った。

*平年:過去5か年(令和元年～令和5年)の平均値
7港のシラス水揚量

漁港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)	
遠州灘	新居	1.1	4	14	82	1,571
	舞阪	7.4	6	89	83	1,613
	福田	2.0	4	42	47	2,040
	御前崎	6.6	5	41	161	1,684
駿河湾	吉田	9.2	6	153	60	2,667
	用宗	13.8	9	124	111	2,574
	由比	-	-	-	-	-
R6年12月計		40.1	34	463	87	2,217
R5年12月計		254.6	70	1,354	188	1,127
R4年12月計		39.0	29	506	77	2,068

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

[まき網(いわし類)]

マイワシの水揚量は、小川港では0.013トン(前年同月比3.8倍、平年*同月比1%)、伊東港では0.002トン(前年同月比0.01%、平年同月比0.004%)、沼津港、静浦港では水揚げがなかった。カタクチイワシは小川港、伊東港、静浦港、沼津港では水揚げがなかった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシは0.04トン、カタクチイワシは水揚げがなかった。

*平年:過去5か年(令和元年～令和5年)の平均値

[調査船駿河丸の動向]

12月 2日	～	12月 4日	地先定線観測調査	(3日間)
12月 6日			水質調査	(1日間)
12月 9日	～	12月 10日	さば類撒き餌調査	(2日間)
12月 12日			ROV調査	(1日間)
12月 16日	～	12月 17日	サクラエビ卵・幼生調査	(2日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ

トップページ…………… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

海洋情報のページ……… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/O1ocean/>

右のQRコードから、人工衛星による観測情報、県内沿岸水温情報、関東・東海海況速報等を見ることができます。

